

第 34 期  
事業報告書

(平成13年10月1日から)  
(平成14年9月30日まで)

ユニベルス株式会社

〒104-0041 東京都中央区銀座7-16-3 .03-5148-3000 (代表)

# 営業報告書

(自 平成13年10月1日)  
(至 平成14年9月30日)

## 1. 営業の概況

### (1) 営業の経過および成果

当期は当社にとりまして創業以来の大変苦しい年となりました。

売上については、長引く設備投資の停滞等を受け基幹製品の産業用計測機器等の需要が例年の1割強の減少となりました。加えてロジスティクス部門のCMS（仕分けシステム）の大型案件が次期にずれ込んだ結果、当期の業績につきましては、売上高は前期を15%下回る3,199百万円、受注高は前期を11%下回る2,897百万円となりました。

損益面では、営業の効率化を図るために東京へ本社機能を移転した費用や新規事業の開発費用もかさみ、誠に遺憾ながら創業以来初の赤字決算を余儀なくされることとなりました。通期の損益としては人員の適正配置、社長以下役員給与20～15%カット、部長級5%の給与カットや広告宣伝費を始めとする経費節減（38百万円）に努めましたが、営業損失49百万円、経常損失66百万円さらに特別損失として175百万円を計上したために、169百万円の当期損失となりました。

特別損失の内容といたしましては、まず採算性の改善が見込めないため印鑑照合器を生産中止とし、事業撤退損29百万円を計上いたしました。今後も採算性を重視し不採算部門の撤退・縮小を含め好採算の部門への人材・資金の集約等を促進して参りたいと存じます。

次に、人員の適正化のための早期退職金等として特別退職金8百万円、さらに経費削減のためトルネード事業部として独立しておりました東京事務所を閉鎖し、東京本社へ統合したための費用19百万円を計上いたしました。このような事業所の統廃合や資産の有効活用も今後も引継ぎ必要に応じて実施していく予定です。

最後に、株式市場のさらなる下落により保有いたしておりました投資有価証券等が、売却損1百万円、評価減は115百万円を計上するに至りました。これらの結果、当期損失は169百万円となりましたが、投資有価証券評価損の特別損失を除きましては、大部分が早期の業績回復に向けての経営改革と事業構造改革による損失です。

今後とも、事業効率を目指し早期黒字回復のため、より一層の努力をいたす所存でございます。

(2) 資金調達の状況

特に記載する事項はありません。

(3) 設備投資の状況

東京本社の内装工事及び建物附属設備等による増加31百万円、営業員増加による車両運搬具の取得3百万円、新製品の金型等の工具器具備品の取得89百万円等により当期の設備投資総額は125百万円であります。

(4) 会社が対処すべき課題

新規事業立上げに伴う技術、営業、カスタマーサービス等の人材確保、在庫投資の早期回収、既存事業の採算見直し、それに伴う事業の再編成、経費の圧縮等が課題となっております。

(5) 営業成績および財産の状況の推移

区 分	第 31 期 平成11年9月期	第 32 期 平成12年9月期	第 33 期 平成13年9月期	第34期(当期) 平成14年9月期
売 上 高 (百万円)	2,778	3,202	3,763	3,199
経 常 利 益 又は損失(△) (百万円)	306	500	577	△ 66
当 期 利 益 又は損失(△) (百万円)	170	321	330	△ 169
1株当たり当期利益又は損失(△)	35円84銭	67円79銭	68円24銭	△ 31円90銭
総 資 産 (百万円)	5,705	6,244	8,044	8,034
純 資 産 (百万円)	3,172	3,574	5,367	5,191

(注) 1株当たり当期利益又は損失(△)は、期中平均発行済株式総数により算出しております。

## 2. 会社の概況（平成14年9月30日現在）

### (1) 主要な事業内容

エレクトロニクス機器の開発

高度なエレクトロニクス関連技術でさまざまな製品を産業界に送り出しております。

コアとなる技術はコンピュータ、通信、画像処理等であり、打ち合わせから開発・製造・アフターサービスまで一貫した生産活動を行っております。

ユーザーは、工業計測・計重・重工・自動車・機械・食品・物流・環境・メディカル・セキュリティ等多岐に亘っております。

[主要製品]

区 分		主 要 用 途	品 目
製     品	ウ ェ イ ン グ	自動計量制御 (液体、粉体の連続充填の計量制御、トラックスケール、ホッパースケール、パッカースケール、ウェイトチェッカー、食品加工プラント、化学プラントの計重、配合計量)	ロードセル指示計、ウェイングコントローラ
	ファクトリーオートメーション	ファクトリーオートメーションシステムの中で圧入、加締め、トルク等の計測、制御管理	デジタル指示計、ダイナミック・フォース、プロセッサ、DCアンプ、ロードセルコンバータ、シグナルコンディショナ
	環 境	環境（大気、水質、地震、振動、騒音）の計測、分析、記録、通信	データロガー、地震計、田んぼ通信
	ロジスティクス	サプライチェーン・マネジメントを実現する手段としてのカートマネジメントシステム、棚卸支援	カートマネジメントシステム、オーディター端末
	セキュリティ	防犯、機密保持、偽造防止、万引き防止	物品監視システム(SAS)
	情報・通信	生産現場での各データ記録、収集、分析による品質向上、生産性の向上	プロセスレコーダー、データロガー、インテリジェントプリンタ
	その他の電子機器	その他	アルチバリオNANA
商 品		当社製品と組み合わせるセンサー等用途はウェイング、ファクトリーオートメーションと同じ	ロードセル、ハンドヘルドキャリブレーション、mmEye

## (2) 事業所

- ◎本社・トルネード事業部 東京都中央区銀座七丁目16番3号  
技術センター（埼玉県越谷市）  
◎営業所 大阪支店（大阪府大阪市）  
名古屋営業所（愛知県名古屋市）  
広島営業所（広島県広島市）  
福岡営業所（福岡県福岡市）

## (3) 株式の状況

- ① 会社が発行する株式の総数 17,000,000株  
② 発行済株式の総数 5,370,500株  
(注) 発行済株式の総数の増加はストックオプションの権利行使による増加77,000株  
であります。  
③ 株主数 4,508名  
④ 大株主

株主名	当社への出資状況		当社の当該株主への出資状況	
	持株数	持株比率	持株数	持株比率
吉本喬美	1,222千株	22.75%	—	—
クレディアグリコインドスエルクセンブルグ	150千株	2.79%	—	—
ユニパルス社員持株会	146千株	2.73%	—	—
星竹夫	134千株	2.49%	—	—
株式会社みずほ銀行	124千株	2.30%	—	—
株式会社三井住友銀行	124千株	2.30%	3千株	0.00%
住友生命保険相互会社	110千株	2.04%	—	—
UFJ信託銀行株式会社	100千株	1.86%	—	—
日本生命保険相互会社	100千株	1.86%	—	—
降籐徹	72千株	1.34%	—	—

- (注) 1. 株式会社富士銀行は、平成14年4月1日をもって株式会社第一勧業銀行及び株式会社日本興業銀行とともに会社分割・合併を行い、株式会社みずほ銀行及び株式会社みずほコーポレート銀行となりました。  
2. 東洋信託銀行株式会社は平成13年4月に株式会社三和銀行、株式会社東海銀行とともに持株会社UFJホールディングスを設立、経営統合し、平成14年1月15日をもってUFJ信託銀行株式会社となりました。

#### (4) 従業員の状況

従業員数		前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
男性	129名	(+) 6名	35.3才	6.8年
女性	32名	(-) 3名	32.0才	4.6年
合計又は平均	161名	(+) 3名	34.7才	6.3年

(注) 上記の人員には社外から当社への出向者2名を含み、パートタイマー及び嘱託契約者50名(8時間就業換算人員)を含んでおりません。

#### (5) 企業結合の状況

該当事項はありません。

#### (6) 主要な借入先

借入先	借入金残高	借入先が有する当社株式	
		持株数	持株比率
株式会社みずほ銀行	483百万円	124千株	2.30%
株式会社三井住友銀行	372百万円	124千株	2.30%
株式会社あさひ銀行	326百万円	—	—
株式会社UFJ銀行	209百万円	30千株	0.55%
日本生命保険相互会社	200百万円	100千株	1.86%
株式会社東京三菱銀行	144百万円	—	—

(注) 株式会社三和銀行は、平成14年1月15日をもって、株式会社東海銀行と合併し、株式会社UFJ銀行となりました。

### (7) 取締役および監査役

地 位	氏 名	担当又は主な職業
代表取締役社長	吉 本 喬 美	
常務取締役	星 竹 夫	営業本部長
取締役	加 藤 嘉 一	計測営業部長
監査役(常勤)	小 原 正 一	
監査役	藤 井 幸 弘	税 理 士
監査役	山 本 清 次	公 認 会 計 士

- (注) 1. 取締役 降旗 徹、中澤昭二及び佐々木聰の3氏は自己都合により平成14年5月31日をもって退任しました。
2. 監査役 小原正一、藤井幸弘及び山本清次の3氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。  
なお、監査役 武田光司は死亡により平成13年11月1日をもって退任しました。

### 3. 決算期後に生じた会社の状況に関する重要な事実

特に記載すべき事項はありません。

(注) 本営業報告書中の記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てております。

# 貸借対照表

(平成14年9月30日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流動資産</b>	<b>4,022,677</b>	<b>流動負債</b>	<b>1,384,589</b>
現金及び預金	722,919	支払手形	466,744
受取手形	540,767	買掛金	104,786
売掛金	614,449	短期借入金	180,000
商製品	94,988	一年以内に返済予定の借入金	489,988
製成品	126,590	長期借入金	
原材料	384,520	未払払費用	28,987
仕掛品	1,368,825	未払法人税等	18,701
貯蔵品	23,676	未払消費税等	4,306
前払費用	12,762	未払消費税等	25,127
繰延税金資産	123,445	前受り金	998
その他流動資産	14,006	預り金	16,625
貸倒引当金	△ 4,274	前受り収益	1,510
<b>固定資産</b>	<b>4,011,921</b>	賞与引当金	45,025
<b>有形固定資産</b>	<b>2,405,044</b>	営業外支払手形	1,787
建物	900,476	<b>固定負債</b>	<b>1,458,957</b>
構築物	12,833	長期借入金	1,066,014
機械及び装置	204	退職給付引当金	14,603
車両運搬具	20,041	役員退職慰労引当金	336,285
工具器具備品	206,392	その他固定負債	42,054
土地	1,265,095	<b>負債合計</b>	<b>2,843,547</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>35,811</b>	<b>資 本 の 部</b>	
ソフトウェア	30,766	<b>資本</b>	<b>1,731,575</b>
電話加入権	3,606	<b>法定準備金</b>	<b>1,792,397</b>
水道施設利用権	1,439	資本準備金	1,731,475
<b>投資等</b>	<b>1,571,064</b>	利益準備金	60,922
投資有価証券	943,420	<b>剰余金</b>	<b>1,835,365</b>
長期貸付金	400	任意積立金	1,776,400
従業員長期貸付金	38,315	別途積立金	1,776,400
長期前払費用	3,823	当期末処分利益	58,965
繰延税金資産	348,595	(うち当期損失)	(169,224)
貸貸用不動産	157,429	その他有価証券評価差額金	△ 168,287
その他投資等	79,082	<b>資本合計</b>	<b>5,191,050</b>
貸倒引当金	△ 1	<b>負債及び資本合計</b>	<b>8,034,598</b>
<b>資産合計</b>	<b>8,034,598</b>		

## 損 益 計 算 書

(自 平成13年10月1日  
至 平成14年9月30日)

(単位：千円)

		科 目	金 額
経 常	営業 損益の部	営業収益	3,199,830
		営業費用 売上原価 販売費及び一般管理費	2,280,631 968,255
		<b>49,056</b>	
損 益 の 部	営業 外 損 益 の 部	営業外収益	4,658
		受取利息及び配当金	5,319
		不動産賃貸収入	1,922
		その他営業外収益	11,899
		営業外費用	23,994
		支払利息	3,394
		1,295	
		353	29,037
		<b>66,194</b>	
特 別 損 益 の 部	特 別 損 益 の 部	特別利益	92
		固定資産売却益	1,585
		償却債権取立益	1,678
		特別損失	19,318
		固定資産除却損	1,885
		投資有価証券売却損	115,030
		投資有価証券評価損	29,870
		事業撤退損	500
		8,895	175,499
		<b>240,016</b>	
		37,379	
		△ 108,170	
		<b>169,224</b>	
		228,190	
		<b>58,965</b>	

## 利 益 処 分

(単位：円)

科 目	金 額
当 期 未 処 分 利 益	58,965,794
任 意 積 立 金 取 崩 額	
別 途 積 立 金	10,000,000
計	68,965,794
これを次のとおり処分いたします。	
利 益 配 当 金 (1株につき 12円)	64,446,000
計	64,446,000
次 期 繰 越 利 益	4,519,794



## 株 主 メ モ

決 算 期 日 9月30日

定 時 株 主 総 会 12月中

1 単 元 の 株 式 数 100株

公 告 掲 載 新 聞 日 本 経 済 新 聞

当社は、貸借対照表及び損益計算書を、決算公告に代えて、ホームページに掲載することといたしましたのでお知らせいたします。

貸借対照表等の掲載場所は次のとおりであります。

<http://www.unipulse.com/jp/ir/calcrep.html>

名 義 書 換 代 理 人 UFJ信託銀行株式会社

同 取 扱 場 所 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同 取 次 所 UFJ信託銀行株式会社 全国各支店